

矢板市議会 だより

第199号

平成29年11月1日

議会報告会・意見交換会、開催。

第348回 9月定例会

平成28年度決算を認定

平成29年度一般会計補正予算案などを可決

目次

決算レポート 矢板市の「家計簿」チェック！	2
9月定例会の審議結果／委員会 行政視察レポート	4
委員会審査レポート	
市勢発展のために！「一般質問」報告	8
矢板市議会ニュース「第3回 議会報告会・意見交換会」速報!	12
「これまで」と「これから」をご報告 矢板市議会 スケジュール帳	14

2017年9月21日
認定

お給料は、何に使ったの？ 矢板市の「家計簿」チェック

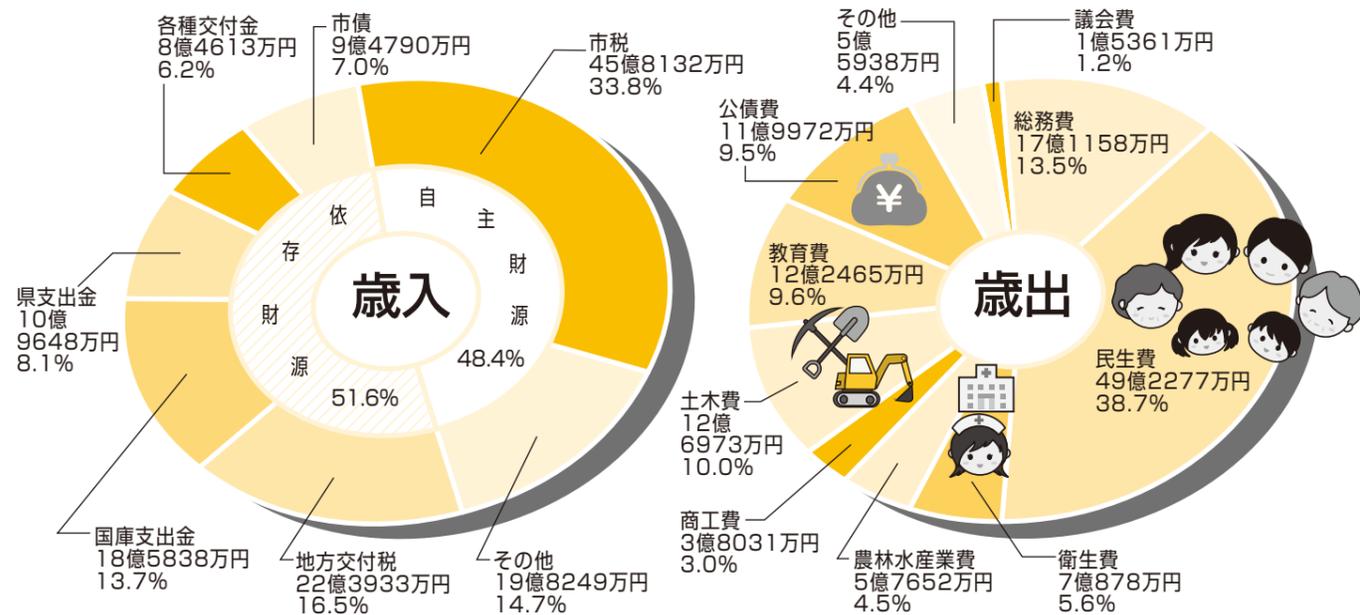


2016(平成28)年度の矢板市の「財政状況」がどうなっていたのか？
全体の決算と、お金の使い道を1か月の「家計簿」にして、お伝えします。

一般会計

歳入 135億5203万円

歳出 127億704万円



用語解説

- 自主財源／市税など自らの権限で徴収・収納できる財源。●依存財源／国や県を経由する財源で使途や自治体の裁量が制限されているもの。●地方交付税／財源に恵まれた自治体と財源不足に苦しむ自治体間の財政不均衡を是正する事を目的とし、国から交付されるもの。使い道は自由。
- 支出金／国や都道府県から、特定の事業を促進する目的で使途を指定して交付するもの。
- 総務費／市の運営や市職員の給与などにかかる経費。●民生費／高齢者福祉や児童福祉、生活保護などにかかる経費。●公債費／市債の返済にかかる経費。

特別会計・企業会計

会計名	介護保険	国民健康保険	後期高齢者医療	農業集落排水事業
歳入	30億282万円	45億8161万円	3億4752万円	6232万円
歳出	28億6806万円	44億2280万円	3億3843万円	5716万円

会計名	公共下水道事業	クリーン矢板排水処理事業	木幡宅地造成事業	水道事業	
				収益的収入	資本的収入
歳入	8億2293万円	1737万円	1億9834万円	7億7742万円	1億4373万円
歳出	8億590万円	1589万円	1億9229万円	6億6850万円	4億6008万円

※一般会計、特別会計、企業会計ともに、万の単位で掲載。千単位は四捨五入しています。

決算を家計に例えると？

一般会計の決算を、
月に30万円の家計に
置き換えると…

扶助費は医療の給付費など福祉や医療にかかる費用で、支出全体の22.1%と2割を超えました。10年前と比べると、**ほぼ2倍**に膨らんでいます。

	2016年度	2015年度	比較
家族の医療費 (扶助費)	66,300円	63,600円	+2,700円
食費 (人件費)	44,700円	45,600円	-900円
ローンの返済 (公債費)	28,500円	28,800円	-300円
光熱費や電話代などの生活費 (物件費・補助費・維持補修費)	78,300円	76,500円	+1,800円
子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	40,500円	38,700円	+1,800円
家の増改築 (普通建設事業費)	29,100円	38,700円	-9,600円
貯金など (積立金など)	12,600円	8,100円	+4,500円
合計	300,000円	300,000円	

家族の医療費(扶助費)、食費(人件費)、ローンの返済(公債費)の3つは、義務的経費と言われ、支払いが義務づけられているもので、削減が非常に難しいお金です。
また、食費や家の増改築などのお金が減っています。
無駄、無理なお金の使い方を改めて見直し、健康でいて医療費を下げていかないと、生活がどんどん苦しくなっていきます。

**扶助費を下げられるよう、
「元気で健康に！」生活していきましょう!!**

委員会 行政視察レポート

総務厚生常任委員会

● **公共施設再配置計画** 【香川県三豊市】
矢板市の喫緊の課題である公共施設再配置計画策定、及びその具現化手法について、先進事例としても名の挙がる三豊市に学ぶ。

● **スポーツを活かしたまちづくり**
【フットボール場】 【高知県黒潮町】
スポーツを活かしたまちづくりとして、フットボール場を拠点とした交流人口増加の実績著しい黒潮町に学ぶ。

● **集落機能維持等に取り組む**
【大宮集落活動センター】 【高知県四万十市】
人口減少・高齢化、さらに居住区の点在による非効率的な行政運営の課題解決を進める高知県と、

◎佐貫 薫 ○関由紀夫 藤田欽哉 和田安司
中村久信 石井侑男 中村有子 渡邊孝一

基礎自治体が協力して進める集落活動センターを学ぶ。

● **若手職員行革チームによる行政改革**
【愛媛県西予市】

若手職員の方々による事業再構成により、399事業、6億円削減を達成した施策で、行政施策優先度の決定と実施、及び縦割り意識ではなく横断的な発想が出来る人材の育成を学ぶ。

矢板市に、どう活かす!!!

公共施設再配置計画のほか、矢板市において懸案となっている事例について、視察した先進的な取り組みを参考に、矢板市の持続可能な発展につなげるよう取り組んでいく。

経済建設文教常任委員会

● **グリーンルネサンス推進事業** 【北海道美唄市】
農業体験学習を通して、キャリア教育の中で学ぶことにより、「生きる力」を醸成し、郷土食や郷土業への理解を深め美唄を愛する心を形成し、地域の再生、人口減少対策に取り組んでいる。

● **スポーツ合宿によるまちづくりの取り組み**
【北海道深川市】
深川市は、まち・ひと・しごと総合戦略において、合宿の宿泊数を年間6000泊とする目標を掲げ、地方創生事業に取り組むこととし、経済の活性化、交流人口の増加によるまちのPRに繋げ、人口減少対策を行っている。

◎伊藤幹夫 ○小林勇治 高瀬由子 櫻井恵二
宮本妙子 今井勝巳 大島文男 大貫雄二

● **余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト**
【北海道余市町】

農業振興策として6次産業化を推進し、1.ワイン産業の振興、2.新商品の研究・開発に向けての支援、3.「余市ブランド」としてのPR強化に取り組み、ワイン特区の認定、PR活動の強化、地方創生交付金を活用した「余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト」を展開し、就労者の増加、交流人口の増加に繋げている。

矢板市に、どう活かす!!!

特産品の6次産業化による観光資源化や合宿誘致などによるスポーツツーリズムの推進などを通して、矢板市における交流人口の増加が図られるよう各種施策を支援、促進していく。

議会運営委員会

● **大学連携とPPDCAサイクル** 【石川県加賀市】
金沢大学法科大学院と連携し、研修会やインターンシップなどを通じて、議員提出条例を制定された。活動の進行管理・振り返り・評価・次の目標設定を行い、議員の意識の結集を図り、よりレベルの高い成果につなげている。

● **タブレット端末の導入** 【新潟県柏崎市】
執行部に先駆けタブレット端末を導入し、ペーパーレス化による紙資料の削減や事務連絡の効率化による労力、通信運搬費の低減に効果をあげている。議員も情報取得の迅速化、情報の共有化など、議員活動の効率化を図り、効果を上げている。

◎中村久信 ○伊藤幹夫 佐貫 薫 渡邊孝一
今井勝巳 大貫雄二
議長・和田安司 副議長・宮本妙子

矢板市に、どう活かす!!!

両議会とも早くから議会改革に取り組み様々な施策を実践し、効果を上げている。議会力を高めるには、議員力を高めるとともに議会の仕組みなどの改革も必要であり、今回の視察内容を議会内で共有し議員全員一丸となって、より良い方向を見出し、市民の皆さまに高い信頼が得られるよう改革を進めていく。

第348回 9月定例会 (9月1日~21日)の審議結果

平成29年度補正予算、平成28年度決算などを議決いたしました。

議案番号	件名	賛成・反対	議決結果	
第1号	平成29年度矢板市一般会計補正予算(第3号)		原案可決	
第2号	平成29年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第2号)			
第3号	平成29年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)			
第4号	平成29年度矢板市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)			
第5号	平成29年度矢板市水道事業会計補正予算(第1号)			
第6号	平成28年度矢板市一般会計歳入歳出決算の認定について			
第7号	平成28年度矢板市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について			
第8号	平成28年度矢板市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について			
第9号	平成28年度矢板市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について			
第10号	平成28年度矢板市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で賛成		認定
第11号	平成28年度矢板市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第12号	平成28年度矢板市コリーナ矢板排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第13号	平成28年度矢板市木幡宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第14号	平成28年度矢板市水道事業会計決算の認定について			
第15号	矢板市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部改正について		原案可決	
第16号	教育委員会委員の任命同意について		同意	
第17号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について			
第18号	不動産の譲与について			
第19号	市道路線の廃止について		原案可決	
第20号	平成28年度矢板市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について			
議員案第1号	道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書			

議案をこのように審査しました。

委員会審査レポート

厚生労働委員会

◎佐貫 薫 ○関由紀夫
藤田欽哉 和田安司
中村久信 石井侑男
中村有子 渡邊孝一

第1号 平成29年度矢板市一般会計
補正予算(第3号)

概要 歳入歳出にそれぞれ1億7190万円を追加計上し、予算総額を132億8550万円に補正するもの。文化会館改修事業7009万3千円などが計上されている。

質疑 おしらの滝周辺整備の補正額が少ない(191万2千円)が、周辺すべての整備ではなく安全管理のためのみの補正か。

説明 安全管理のために7か所手当を要する。

質疑 文化会館改修事業(雨漏り修繕)は莫大な費用がかかるというが、7000万円ですむのか。

説明 屋根の部分の防水工事のため補正である。大方は解消できると考えている。

採決の結果 全会一致で可決

第2号 平成29年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第2号)

概要 歳入歳出にそれぞれ1億2614万3千円を追加計上し、予算総額を31億3319万1千円に補正するもの。

採決の結果 全会一致で可決

第3号 平成29年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

概要 歳入歳出にそれぞれ939万6千円を追加計上し、予算総額を43億9149万6千円に補正するもの。

採決の結果 全会一致で可決

第18号 不動産の譲与について

概要 矢板市消防団第5分団第

4部の旧機械器具置場用地の返却に伴い、市が保有する建物を譲与するため、法の定めるところにより、議会の議決を求めるもの。

採決の結果 全会一致で可決

経済建設文教常任委員会

◎伊藤幹夫 ○小林勇治
高瀬由子 櫻井恵二
宮本妙子 今井勝巳
大島文男 大貫雄二

第4号 平成29年度矢板市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

概要 歳入歳出にそれぞれ1920万円を追加計上し、予算総額を9億930万円に補正するもの。

採決の結果 全会一致で可決

第5号 平成29年度矢板市水道事業会計補正予算(第1号)

概要 収益的収入および支出における支出において、営業費用を270万円減額し、水道事業費用総額を6億9350万円に、資本的収入および支出における支出において、建設改良費を80万円減額し、資本

的支出総額を5億8800万円に補正するもの。

採決の結果 全会一致で可決

第15号 矢板市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部改正について

概要 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

採決の結果 全会一致で可決

第19号 市道路線の廃止について

概要 矢板市矢板地内ほか1地区において、市道1路線を廃止するため、法の定めるところにより、議会の議決を求めるもの。

採決の結果 全会一致で可決

第20号 平成28年度矢板市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

概要 平成28年度矢板市水道事業会計の利益剰余金の処分を行うにあたり、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

採決の結果 全会一致で可決

請願・陳情の審議結果

陳情番号	件名	提出者 ※敬称略	所管委員会	議決結果
第24号	県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情	全栃木教職員組合 執行委員長 糸川祥一	経済建設文教	継続審査
第25号	テロ等準備罪を新設する組織犯罪処罰法の改正に関する陳情	平和と憲法を守る!栃木県北市民ネット 椎野輝美ほか3名		
第27号	市政情報に関し積極的な市民への情報提供を求める陳情		総務厚生	不採択
第28号	市政及び市の情勢についての情報の収集及び提供の担当部課を市役所内に配置する事を求める陳情			
第29号	市長杯争奪サッカー大会の開催の陳情			
第30号	地産地消推奨についての陳情			継続審査
第31号	市内空き農地に関する陳情			
第32号	市内空き家および空き店舗に関する陳情	福島謙治		
第33号	市内の自動車交通路に関する陳情		経済建設文教	不採択
第34号	市内の自動車交通路に関する陳情その2			継続審査
第35号	市営運動公園の整備に関する陳情			
第36号	トラック輸送に関する陳情			不採択
第37号	旧長井小学校に関する陳情			継続審査

請願・陳情は、こんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。請願書・陳情書を提出する方は、以下の要領でご持参ください。

様式

・用紙サイズはA4版。右の様式に準じて日本語で作成してください。

内容

・簡単な趣旨、理由、提出日、請願者(陳情者)の住所、氏名を記載し、押印の上、ご提出ください。
※請願書には、必ず1人以上の紹介議員(矢板市議会議員)の署名、または記名押印が必要です。陳情書には紹介議員は必要ありません。
※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

受付期日

・定例会(3月、6月、9月、12月)開会日の10日ぐらい前までにご提出ください。市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。

請願書様式

(表紙) ○○○○に関する請願書
紹介議員 氏名◎

(内容) 件名 ○○○○に関する請願
要旨
理由
地方自治法第124条の規定により、上記の請願書を提出します。
平成 年 月 日
請願者(代表) 氏名 ○○○○ ◎
(連名のときは末尾に署名欄を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。) 矢板市議会議員 様

陳情書様式

(表紙) ○○○○に関する陳情書

(内容) 件名 ○○○○に関する陳情
要旨
理由
平成 年 月 日
陳情者(代表) 氏名 ○○○○ ◎
(連名のときは末尾に署名欄を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。) 矢板市議会議員 様

お問い合わせ先：議会事務局 TEL:43-6216

市政を問う。

9/4・5

市政の課題や将来の展望について質す一般質問。
9月議会では、7人の議員が質問をしました。
「矢板を良くしたい!」
各議員の熱い思い、ご一読ください。



小中学校の適正配置の現状と今後は。行財政改革の見解を問う。



石井 侑男 議員

質問

財政基盤が不安定である状況で「矢板市総合計画」に掲げた矢板市の将来像の実現のためには、より一層の行財政改革が求められるが、見解を問う。

答弁

少子高齢化の進展、人口減少の加速化に加え、本市の財政状況は社会保障費が年々増加する一方、市税の減少等により、財政収支の均衡を保っていくことが非常に困難になっている。そのため、「矢板市行財政改革推進計画」を策定し4つの基本政策「健全な財政運営」「経営の効率化」「人材の活用」「歳入の確保」を定め、財政健全化と行財政改革の両面から着実に推進し行財政基盤の安定化を図る。

答弁

現在市内の2小中学校で複式学級がある。適正な規模・配置等になるよう、さらには児童にとつて教育環境の最善の選択をするため、公施設再配置計画策定後「小中学校適正配置検討委員会」を設置し地域事情や児童数の推移等を検討し個別の計画を策定する。

質問

文部科学省が少子化に対応した活力ある学校づくりに向け「公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を公表しているが、本市の小中学校の適正配置について問う。

【今回の質問】

1. 矢板市の行財政について
2. 若手職員によるプロジェクトチームの立ち上げについて
3. 小中学校の適正規模、適正配置等について

「住みよさランキング」の認識を問う。COOL CHOICEの取り組みは。



伊藤 幹夫 議員

質問

世界的な地球温暖化対策に向け、パリ協定の採択を受け日本は2030年度にCO₂削減目標を2013年度比で26%とした。それを受け国民運動「COOL CHOICE」が法案化され、国や県が啓発活動を推進しているが、矢板市としての取り組みを問う。

答弁

市民向けの温暖化対策に関連する講座もあるが、国や県の出前講座や国の補助制度なども、情報収集しながら推進していく。

質問

ふるさと納税寄附金については、どのように使われるのか、私を初め矢板市民が大変関心があるところだと思ふ。寄附者の気持ちに応じるためにも、矢板市のために有効に活用する事を望む。

ふるさと納税の寄附金は、市の財政を補う役目も併せ持っていると考えているが、寄せられた寄附金は、具体的にどのように市の発展に活用されていく予定なのか、今後の対応を問う。



関 由紀夫 議員

ふるさと納税寄附金の有効活用を望む。今後の活用の予定を問う。

答弁

27年度の寄附金は活用済み、28年度は検討中
平成27年度に寄附をいただいた約5800万円については、有害獣駆除事業、定住促進補助事業、小中一貫教育推進事業、中学生海外派遣事業など20の事業に活用させていただいた。

平成28年度に寄附をいただいた1億7500万円については、平成29年度予算への活用を検討中である。特に寄附額の約42%を占めている「市長に任せ事業」については、未来づくり懇談会などを通じて、多くの市民の皆さまからご意見をいただきながら、慎重に検討していきたいと考えている。

【今回の質問】

1. 住みよさランキングについて
2. 国道4号拡幅事業について
3. 矢板市立図書館の運営について
4. クールチョイスについて

答弁

民間の出版社などが発表しているランキングや指標に一喜一憂することなく、「子どもや孫が帰ってくるまちづくり」をして行く。

【今回の質問】

1. ふるさと納税について
2. 生活困窮児対策について
3. 矢板市の情報発信のあり方について

子どもの夢を叶え生きがいがづくりを！ 「おしらじの滝」周知で交流人口増！



高瀬 由子 議員

質問

高校生や若者等が競う「技能五輪アビリンピック」が11月に本県で開催される。これを周知し、家族で地域で子ども達の夢を叶え、サポートする側にも生きがいがづくりとなるよう取り組んではいかがか。

答弁

選手・関係者4600人、来場者15万人が見込まれる本大会は、ものづくり産業の振興、障がい者雇用の促進、地域経済活性化に大変有意義であり、職業について知る契機となる。ものづくりへの関心が高まるようPRと支援に努める。さくら市会場にブースを設営し、産業、観光、特産品等矢板の魅力を発信する。

質問

山ボーイ・山ガールが増えている今、「八方ヶ原」「おしらじの滝」ほかの滝巡りイベントを矢板市の名刺、パンフレット、ホームページ、エコモデルハウスなどで周知し、交流人口増を図ってはいかがか。

答弁

「おしらじの滝」は「とちぎ旅ネット」でアクセス数No1となり一般客が急増している。DC本番に向け補正予算を計上し整備完了次第「おしらじの滝」を含めた八方ヶ原観光商品を造成し、名刺、パンフレット、ホームページを活用してPRする。山の駅たかはらの各種イベントやエコモデルハウスにおけるPRも連携して行い交流人口増に努める。

【今回の質問】

1. 技能五輪アビリンピックの活用
-「生きがい日本」をめざして-
 2. 定住促進のための印刷物活用
-「選ばれる矢板」へ-
 3. 「八方ヶ原」「おしらじの滝」他の周知で交流人口増へ
-矢板再発見-
 4. DC本番に向けたイベント強化
-「訪れたい矢板」へ-
 5. DC本番「満腹列車」に向けた取り組み
-矢板の市民力でおもてなし-
- ※DC:デスティネーションキャンペーンの略称

地籍調査の進め方と組織見直しを問う。 矢板市の国民保護計画を周知すべき！



今井 勝巳 議員

質問

武力攻撃事態等における緊急時の対応、市民保護について分かりやすく周知すべきでは。

答弁

ミサイル発射時に、不具合のないよう防災行政無線などの点検や設定を確認するほか、消防庁や県と連携し情報伝達訓練を実施し徹底した対応に当たっている。
9月1日には、緊急時の対応についてのチラシを全戸配布した。
今後、広報やリーフレット等を活用し分かりやすく、正確な情報を提供していく。

質問

遅れている地籍調査を組織の見直しを含めていかに進めるか。また、市街地への進め方について問う。

答弁

調査対象面積は146km²で調査完了面積は26.18km²であり進捗率は24.5%で低い状況にある。原因は複雑な権利関係と所有者の権利意識が強いことなどである。そのため今年度は職員を1名増員し6名体制とし、予算も昨年度の約500万円から今年度は約3000万円と6倍にした。
今後は進捗率にこだわらず、ご指摘の市街地など重要と思われる地域へ調査を進めていきたい。組織の見直しについては全庁的な問題であるので総合的に判断したい。

【今回の質問】

1. 地籍調査について
2. 国民保護について
3. 矢板市中小企業及び小規模企業の振興に関する条例について

「健康マイレージ事業」の導入を問う。 子育て世代包括支援センターの設置を！



中村 有子 議員

質問

本年、第二期健康増進計画が策定された。

矢板市民の健康づくり向上、医療費、介護費の抑制、地域経済の活性化へと繋げていける事業である。研究成果を問う。

答弁

栃木県発表のICTを活用した健康ポイント事業は、県との連携による実施が効果的である。

本市で実施している「お元氣ポイント」事業と他のポイント制度との融合や、健康づくりへの意識向上、動機付けが図られるポイントの付与方法と還元方法を検討し、県の動向も注視して実施したいと考えている。

質問

出産後の母子の健康を継続して包括的に見守っていける体制づくりが求められている。

母子保健法の改正により、市町村は、子育て世代包括支援センターを設置することが努力義務とされた。

このことを受けて、当局の見解を問う。

答弁

矢板市としては、専任の保健師を配置し、専門性を活かした相談支援、母子保健を中心としたネットワークの構築により、医療機関や療育機関に繋げる母子保健型の「子育て世代包括支援センター」を平成30年度から子ども課内に設置したい考えである。

【今回の質問】

1. 健康増進対策について
2. 子育て支援の充実について

子ども議会の開催、ICT(情報通信技術)教育の推進について問う。



中村 久信 議員

質問

ふるさとを知りふるさとを愛する心を育むとともに、市政や市民の仕組みを学ぶ事によって政治への関心を高め、将来を担う子どもの育成のために子ども議会を開催すべきではないか。

答弁

子どもたちが自分たちの暮らす地域の課題の掘り起しと解決策を探り、まちづくりや市政について、質問・提言などを述べる体験的な活動を通して、市民としての自覚、まちづくりへの関心を高める事ができるなど、大変有意義であると考えている。来年は市制施行60周年の節目でもあるので、実施に向けて検討していく。

質問

人工知能の進展など、大きく変化していく社会を切り開き、たくましく生き抜く子どもの育成を図り、併せてICT教育者指導者の育成を図るため、モデル校を指定し最先端のICT教育を推進してはどうか。

答弁

ICT教育は、特に児童生徒の自主性を育み、深い学びを生む効果があると考えられる。これを実際の授業に活用するにはICTに関する知識が必要であり、教員研修などが不可欠である。まずは、ICT環境を活用した効果ある授業の組み立て方の研究などをするために、モデル校を設定し検証しながら、着実にICT教育を推進していく。

【今回の質問】

1. 教育について

平成29年度上半期「政務活動費」の交付状況

矢板市議会の政務活動費は、1人当たり年額24万円が上限です。平成28年度までは、政務活動費を事前に交付していましたが、平成29年度からは、執行額を後日請求する「事後交付制度」を採用しています。事後交付制度では年2回(上半期・下半期)の実績報告書の提出を義務付けています。今号では、上半期の政務活動費の交付状況についてご報告いたします。



交付決定(上限)額	360万円
交付確定額(執行率34.31%)	123万5,020円
交付残額	236万4,980円

《執行内容の内訳》

研究研修費 (主な支出は、研修会参加負担金、宿泊費、交通費などです)	0円
調査費 (主な支出は、宿泊費、交通費、燃料費などです)	84万2,834円
資料作成費 (主な支出は、印刷費、写真プリント代、文書コピー代などです)	0円
資料購入費 (主な支出は、図書購入費、新聞購読料などです)	39万2,186円
事務所費 (主な支出は、事務機器リース代などです)	0円

※議員別の詳細は、矢板市議会ホームページで公開しております。



政務活動費 Q&A

Q. そもそも「政務活動費」って何?

A. 議員が政策立案や政策提言の力を高めるため、調査研究活動を行う際の経費です。

Q. どんな経費が認められているの?

A. 上の表に記載されている研究研修費、調査費などが経費として認められています。

矢板市議会ニュース

第3回「議会報告会・意見交換会」開催! 3会場107人ものご参加をいただきました!

10月11~13日の3日間、片岡、泉、矢板の3地区で、第3回目となる「議会報告会・意見交換会」を開催。3会場で107人ものご参加をいただきました。本当に、ありがとうございました。

皆さまからいただいた多くのご意見・ご提言については、11月中に矢板市議会ホームページで回答させていただくとともに、次号の「矢板市議会だより第200号」に結果レポートを掲載させていただきます。



コラム column

議会は? 市政は? 傍聴でわかります!

矢板市議会では、議会(定例会や臨時会)、全員協議会、常任委員会を公開しています。

傍聴は、議会の活動や市政を知っていただく最も良い方法です。なお、今後の定例会、全員協議会などの予定は、裏表紙(14ページ)に掲載しております。

ご不明の点については、ご遠慮なく議会事務局までお問い合わせください。お一人でも多くの方のお越しをお待ちしています。

お問い合わせ先: 議会事務局 TEL:43-6216 FAX:44-1100



市役所1階でも、議会中継をご覧いただけます。



小学生も大勢、傍聴に来ていただいています。

「これまで」と「これから」
議会の動きをご報告

矢板市議会 スケジュール帳

8月～10月の議会日誌

8月

- 1日 議会運営委員会行政視察
(石川県加賀市ほか)
- 10日 議会報告会運営委員会正副班長会議
- 18日 全員協議会、議員会、議会広報広聴委員会
- 23日 三重県津市行政視察来庁
- 24日 議会運営委員会、議会改革推進特別委員会
- 25日 県北五市議長会議 (那須塩原市)

9月

- 1日～21日 第348回市議会定例会
- 1日 全員協議会、議員会、議会広報広聴委員会
議会報告会運営委員会正副班長会議
- 14日 議会改革推進特別委員会、議員会、
議会報告会運営委員会正副班長会議
- 21日 全員協議会
議会報告会運営委員会
- 29日 塩谷市町村議会議長会議 (高根沢町)

10月

- 2日 議会報告会運営委員会正副班長会議
- 3日 塩谷広域行政組合議会議員会、全員協議会、
定例会
- 11日 栃木県市議会議長会議 (日光市)
議会報告会・意見交換会 (片岡公民館)
- 12日 議会報告会・意見交換会 (泉公民館)
- 13日 議会報告会・意見交換会 (矢板市文化会館)
- 18日 議会改革推進特別委員会
- 19日 全員協議会、議員会、議会報告会
運営委員会、議会広報広聴委員会

11月～1月の議会スケジュール(予定)

11月

- 8日・9日 塩谷市町村議会議長会行政視察
(新潟県燕市ほか)
- 14日 全員協議会
- 21日 県北五市議長会議 (さくら市)
- 22日 議会運営委員会

12月

- 1日 全員協議会、定例会開会
- 4日～6日 一般質問
- 7日～11日 常任委員会
- 14日 全員協議会、定例会閉会
- 20日 塩谷市町村議会議長会議
- 26日 塩谷広域行政組合議会、議員会

1月

- 18日 全員協議会
- 30日 塩谷市町村議会議長会行政懇談会

ぜひ、傍聴にお越しください。
なお、日程等が変更となる場合がございますので、議会事務局にお問い合わせください。(TEL.43-6216)

News 議会録画中継スタート!!

矢板市議会では議会改革の一環として、「やいたつぷるTV」さまのご協力をいただき、9月定例会の議場録画中継を試行しました。9月定例会の詳細がホームページから動画でご覧いただけます。ぜひご覧ください。

編集後記

10月11日～13日の3日間、3回目となる「議会報告会・意見交換会」を開催。総勢107人の皆さまにご参加いただき、本当にありがとうございました。今年はグループワークに初チャレンジ!「聴く」から「創る」へ。多くの方からご意見を伺いたいという狙いで、バージョンアップさせた企画です。色々なご意見、ご提言をいただき、個人的にとっても楽しく、「まちづくりは、このような場から始まる」と再確認できた時間でした。次はそれらを形にすることへ! (佐貫 薫)

「矢板市議会だより」について、ご感想・ご意見をお待ちしております。
FAX(0287-44-1100)、封書など(〒329-2192 矢板市本町5-4 矢板市議会事務局あて)、Email(gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp)

※次号(第200号)は2月1日発行予定です。



◎関由紀夫 ○佐貫 薫 ○伊藤幹夫
高瀬由子 藤田欽哉 櫻井恵二
小林勇治 和田安司 宮本妙子

※◎は委員長、○は副委員長



この「矢板市議会だより」は環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しています。

